

はじめまして、 イリーナです!

～JICモスクワ事務所の新スタッフを紹介します



Меня зовут Ирина.
Прошу любить и жаловать!

JICインフォメーション
読者のみなさん、
どうぞよろしく
お願いします!



2006 年 4 月から JIC モスクワ事務所で働いていたトカチェンコ・ドミトリー君が、大学院進学のため 8 月末でエストニアのタリンに移りました。9 月からモスクワ事務所で仕事を始めた新スタッフ・イリーナさんを紹介します。イリーナさんはトカチェンコ君の後輩で、今年モスクワ大学を卒業したばかり。JIC で一番若いスタッフです。以下、インタビュー形式でイリーナさんを紹介합니다。よろしくお願ひします。

——JIC モスクワの新スタッフに応募したのは、どういうきっかけからですか？

トカチェンコさんから電話があり、JICモスクワ事務所が新しいスタッフを探していると教えていただきました。JICではどのような仕事をするのか聞きました。すると興味があれば、履歴書を送って、面接に来てくださいと言われました。当時、日本と日本語に関する仕事を探していました。旅行は私の趣味の一つなので、旅行センターで働くのがよいかと思っていました。

——大学ではどんな勉強をしましたか？ 得意な科目は何ですか？ 反対に不得意なことは？

私の専攻は日本史でした。私が始めて日本に興味を持ったのは、子供のときです。インターネットで日本のテレビドラマや日本についてのビデオをよく見て、日本文化が自分の中に深く残っています。それで大学に入学したとき、日本語と日本史を勉強したいと決めました。

戦国時代に興味がありました。なぜかという、その時代はロシアの日本学ではあまり研究されていない時代だからです。卒業論文では、織田信長と僧侶との関係というテーマを選びました。信長はどうして当時の絶対的な宗教的権威である天台宗・延暦寺を破壊したのか、どうして真宗の石山本願寺を攻めたのかということの研究したのが面白かったです。得意な科目は外国語と文学と歴史です。特に不得意科目はありませんが、哲学には興味を持ってませんでした。

——日本について聞かせてください。日本のどんなところに一番魅力を感じますか？ 逆に、嫌いなところはどこですか？

一番魅力を感じる場所は横浜です。なぜかは分かりませんが、横浜には東京よりのんびりした雰囲気を持っていると

思います。その上、みなとみらい、山下公園、中華街、横浜赤レンガ倉庫、など数多くの魅力的な観光地があります。秋葉原は嫌いなどころではありませんが、賑やか過ぎてあまり好きではありません。

——日本への留学経験がありますが、実際に日本で 1 年間住んでみた印象はいかがですか？ 日本に対する考えは(留学前と比べて)どう変わりましたか？

この留学を一言で表すと、それは私にとって「一期一会」の滞在でした。日本人とコミュニケーションをし、名所をたくさん見物しました。ただし日本に住んだときには、解決しなければならない問題がたくさん起きました。まず、日本語は母語ではないので、最初は全然わかりませんでした。それなりに大学で勉強してきたのと思うと落胆しましたが、それでも一生懸命がんばりました。本当に良い経験になったとおもいます。

日本に対する考えはどう変わりましたかという質問はむずかしいです。実はというと、日本に対する考えはあまり変わりませんでした。留学に行く前に描いていた日本のイメージと実際の日本は同じでした。しかし、留学前と比べて、自分は何が変わりました。日本人やいろいろな国の人に出会うことで、自分の価値観が変わったのだと思います。留学するまでは、自分とはどのような人物なのかというようなことを考える機会がありませんでした。

——JIC モスクワ事務所でどんな仕事に力を入れたいですか？

ロシアの皆さんに日本は漫画、アニメ、寿司だけでなく、長い歴史や伝統を持っている国だということを教えてあげたいです。日本の皆さんにもロシアの歴史的なところや素敵な自然などを教えてあげたいと思います。

——イリーナさんの将来の夢は何ですか？

将来に大学院観光学部に入学して、もっと勉強を深めたいと思っています。

プロフィール；

氏名；イリーナ・チスティリーナ Irina Chistilina

年齢；1989 年生まれ (一番若い JIC スタッフ)

住所；モスクワ市

学歴；モスクワ大学付属アジア・アフリカ諸国大学卒業

青山学院大学に 1 年間交換留学 (09～10 年)